



# ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

令和4年度教育目標 目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”

## 運動会の総括

～このがんばりが、広がってこそ、“本物”～

運動会の代休明けの火曜日(10/4)朝。6年生の教室に行きました。担任の山崎先生が出張だったこともあり、運動会の総括を、気持ちの熱いうちにしたいと思ったからです。

まず、素晴らしい運動会だったことを伝え、6年生のがんばりを称えました。すばらしかった理由を、3つ紹介しました。

① 閉会式の全子ども達の態度が、すばらしかった。

開会式は、朝、緊張感やはりきり感もあり、うまくいくことが多い。しかしながら、閉会式は、ちょっと条件が違う。特に、10月2日(日)の当日は、10月とは思えないぐらいの暑さだった。その中で、演技や競技、係活動等昼までがんばった後に、閉会式だった。それなのに、全員が、落ち着いた態度で、解団式まで、しっかり取り組むことができた。団をまとめた5・6年生は、素晴らしい。

② 応援合戦が、すばらしかった。

応援内容を決めて、計画を立て、練習して臨んだ。リーダーはもちろんのこと、目は、リーダー以外の人達にも向いた。団の両端にいた高学年の人達が、声を張り上げ、精一杯動いていた。すばらしかった。

③ 準備、後片付けが、すばらしかった。

例えば、テントの後片付けを担当していた人たちの様子。テントの幌(ほろ)のたたみ方を、田中先生から聞いて、その後、手分けして、てきぱきと作業をしていた。指示待ちではなく、自分たちで積極的に働いていたことがすばらしい。

これだけのことが、できるわけです。202人の子も達が、本気になったら、すごいです。運動会は、証拠の1つです。日常の学校生活や、これからの行事(例えば、たらっ子学習会等)に、確実に、広げてほしいと思います。楽しみです。



# マスクの“着”“脱”も、重要な学びの機会にします。

学校では、次のような方針で、指導をしています。

- 屋内では、マスクの着用を基本とする。(コロナ禍脱却までは。)
- 体育の時間等、活発に動く時には、マスクを外す。



先日の運動会の時も、共通理解が必要でした。演技、競技の時は、マスクを外すことを、指導しました。10月とは言え、気温が高く、開閉会式の時は…、応援席では…、係活動の時は…、と検討し、学校としての方針を決めてやりました。実際、“着”“脱”のどちらであっても、課題が出てきます。頭を悩ますところです。

保護者の皆様から、よくご意見をいただくのが、登下校時のマスク着用についてです。

暑い時期には、全校的に、登下校時、マスクを外すことを、指導しました。息苦しさや、熱中症のリスクが高いからです。活発に運動する時と、同様の理由です。

気温が高くない場合や、これから寒くなる季節については、登下校時のマスクの着用は、個々の判断が必要だろうと考えています。学校全体で、“外す”“着ける”を統一することは難しいと考えています。まわりが気になって、外したくても外せない、着けたくても、着けられないということは、なくすようにします。

この件につきまして、学校内でも、保護者の皆様とも、活発に意見交換していきたいと思えます。大人も子どもも、学びのテーマになります。

## ご注意下さい！

正門前の通り（山下文具店さんの前の通り）は、7：00～8：30、歩行者・自転車の専用になります。スクールゾーンです。

※ 道路沿いの住居・施設等、どうしても自動車通行が必要な方は、許可を取られております。

知らない方もいらっしゃるようですので、声をかけ合ってくださいと、有り難いです。

